

災害時のペット対策

2013年8月31日

9月1日の「防災の日」を前に環境省は災害発生時、ペットを原則、同行避難させることを明記した初めてのガイドラインを公表しました。

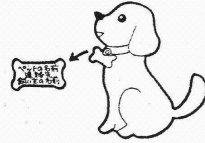
同行避難の必要性

動物も物資の不足、ストレス、ケガの予防、逃亡の防止、免疫力の低下などが起こるので飼い主と一緒に避難する

・抱きしめ、落ち着かせる

・ペットの足に靴、タオル・ハンカチなどをガムテープで巻く（ガラスなどでのケガ防止）

※避難所では動物アレルギーや動物が苦手な方もいるので、動物救護班を立ち上げ飼い主同士で管理する



普段からの備え

・名札やマイクロチップをつけておく

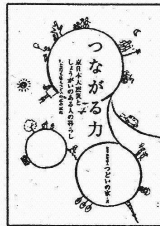
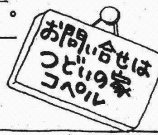
・ペット用の非常持ち出し袋の準備

ペットフード、水、薬、リード、おもちゃ、ビニールシート、ワクチン接種などの証明書など



社会福祉法人 つどいの家の記録

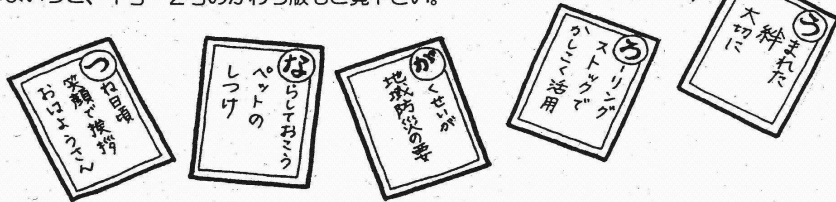
「つながる力—東日本大震災としょうがいのある人の暮らし」災害対応力マニュアルだけでなく、今回の大震災に関わった人たちみんなの思いが詰まった本です。



編集後記

沖野かわら版を第3号まで作ってみて、いつも思うことは地域のつながりが何よりも大切だということです。

そこで、「つながる」をモチーフに今回のテーマに沿ったかたをつくってみました。いまいちど、1号・2号のかわら版もご覧下さい。

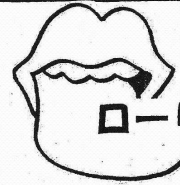


お問い合わせ先： おきのかわら版編集室（沖野市民センター内）
〒984-0831 仙台市若林区沖野7-34-43
TEL: 022-282-4571 FAX: 022-285-4681
e-mail: okino@stks.city.sendai.jp

沖野かわら版

第三号

平成26年3月1日発行



ローリングストックのススメ

備えるなら「非常食」になる「日常食」を！！

電気も水道もガスも止まったら…！！

傷みやすいもの（冷凍・冷蔵）から

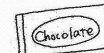
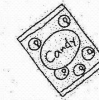
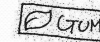
計画的に食材を使いましょう。

※飲料水とカセットコンロの燃料が十分にあることが前提



◎ライフラインが復旧するまでの準備

缶詰、インスタント食品、レトルト食品、カップ麺、パック入りの切り餅、水でもどせる餅、乾燥スープ、フリーズドライフード、ビーフジャーキー、サラミソーセージ、乾パン、ビスケット、栄養補助食品、チョコレート、キャンディ



◎飽きないように変化を持たせ、いろいろな種類を用意する

・子どもがいる家庭ではレトルトのカレー、飴などのお菓子など準備

・お年寄りには乾パンは固くて食べにくいのでビスケットなどで代用

災害時のメニュー例



◎乾パン活用法◎

くだいてスープに入れる

温めたミルクに入れる

ジャムやあんこをはさむ

◎ビスケットおやき◎

ビスケットをくだき、水とミックス

ベジタブルを入れ、おやきにする



◎魚貝入りラーメン◎

インスタントラーメンに

シーフードミックスを入れる



・味に変化がつけられる調味料（しょうゆなど）を準備しておく和良好的

・缶詰は缶きりなしの方が賞味期限が短いので注意

・高カロリーなチョコレートは体力の消耗を防ぐことができる

・少量の塩分や糖分は食欲増進の効果がある





誰にでも ひとりでできないことは たくさんある

今回は日々心に気にかけていた地域内のコペルさん、すだちの里さんの職員の方にお話を伺いました。

石道 敦さん
つどいの家・コペル長

阪神大震災の体験者の方々にトラック 10 台分で救援していただいた。施設利用者、そのご家族、そして近隣の方々に炊き出しもできた。今後の対策としては、更に近隣との関係を密にし、相互で助け合える機会の場を設けていけたらと思っています。

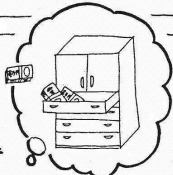
三浦 達也さん
すだちの里管理者、当時多賀城の施設で津波を体験

- ・迷わず、早く遠くに逃げる
- ・家族の写真
万が一家族の安否確認ができない時のために非難持ち出し袋に入れておく
- ・携帯電話
バッテリー切れのために順番に使い分けていく
- ・火災（日中用・夜間用）地震（日中用・夜間用）、津波、水害のマニュアルを作成してあります。



家族の知人などの連絡先を記入したメモを持ち出し袋に入れておくといふ

取材をして管理者、職員の方と入居者さんとのつながりが強く感じられ安心しました。



津波きた！
いだますぐども戻んなよ
(もったいなくても)

お年よりの方には
沖野には一人暮らしの高齢者が多いので日頃からご近所さんが声をかけましょう



連絡先

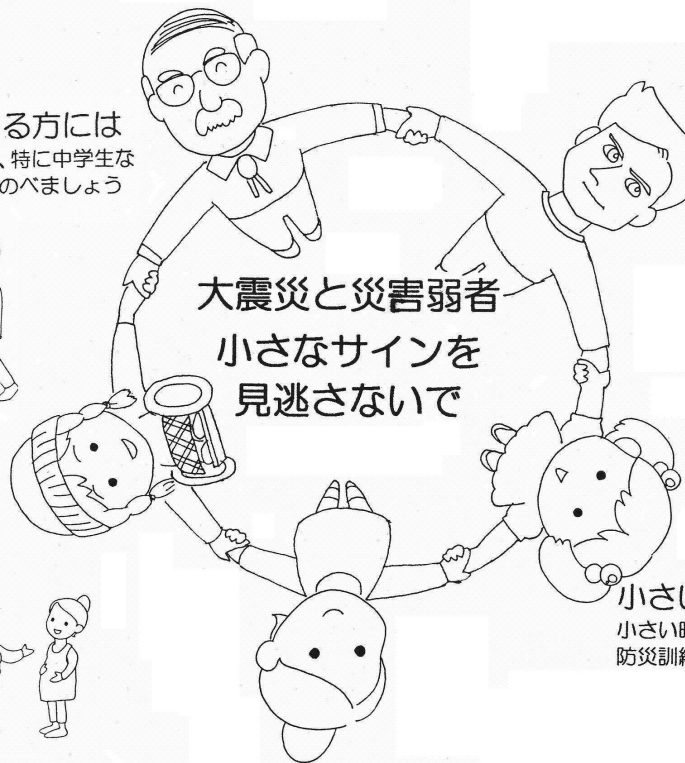


みやぎ外国人相談センター
022-275-9990

外国人のヘルプカードを県が携帯カードとして作成しました。英語・中国語・韓国語・タガログ語の4カ国語

土地に不慣れな方や外国の方には
勇気（言う気）をもって声をかけましょう

しょうがいのある方には
地域に住んでいる若者、特に中学生などは積極的に手をさしのべましょう



大震災と災害弱者
小さなサインを見逃さないで

Where is the refuge?
A refuge is a Okine junior high



※ refuge...避難所

小さい子をもつ親御さんへ
小さい時から防災について教え、地域の防災訓練に参加しましょう

妊婦さんへ
災害時のために前もって情報を収集しておきましょう
通院先、地域から助産師、看護師の情報を得る

